



佐野 実さの としお
議員
(公明会)

児童生徒数が全国3位、県下1位に増大した富士特別支援学校だが、富士宮市の障がい児教育に与える影響と当市ができることについて

佐野 当市の特別支援学級の現状について伺う。

教育長 平成29年度の①小学校特別支援学級の受け入れ状況は、5校で17学級、児童数97人。②中学校特別支援学級の受け入れ状況は、5校で12学級、生徒数55人。市費負担の特別支援学級支援員は29人、すべての支援学級に1人ずつ配置されている。

佐野 富士特別支援学校と富士宮分校への進学状況と今後の予測について伺う。

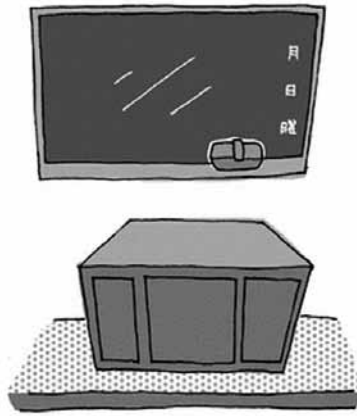
教育長 現在、富士特別支援学校小学部に48人の児童、中学部に25人の生徒が就学している。今後、小中高の就学予測は毎年10人前後が考えられる。

佐野 現状を踏まえ、当市としてできることについて伺う。

教育長 通常学級の進路選択よりも複雑な部分があるので、生徒や

保護者に丁寧な情報提供していきたい。

市長 市長会、県会議員のかつての仲間、県の教育委員会に対して、施設整備計画をしっかりと早くやるように述べていく。



富士宮市の環境・循環型社会
施策について

佐野 市内全防犯灯のLED化への進捗状況について伺う。

市民部長 28年度末で全1万1,501灯中、2,823灯をLED化し、全体の25%が完了。残り8,678灯。自治会からの要望もあり、当初の計画より1年前倒しする。35年度で完了できるよう計画し、LED化を進める。



佐野 実さの としお
議員
(政正会)

自然環境と野生動物の保護は

佐野 ①富士山麓に生息する野生動物の種類・数、その分布は ②有害鳥獣の被害とその防止対策は ③保護と生息可能な環境整備は ④観光資源としての利用は。

環境部長 ①自然調査の結果、哺乳類24種、鳥類201種、両生類23種、魚・貝類88種、昆虫251種を確認 ③保護対策は草原の火入れ、杉檜伐採後の食用となる広葉樹の植栽。獣道の確保等、生息域を保全し、すみ分けを計画。



▲水を飲みに出てくる猪の親子

産業振興部長 ②有害鳥獣は鹿・猪・猿・鳥等、被害額は1,100万円程で年々減少、全体で1,300頭余を駆除 ④観光資源としてジビエ料理を特産品にする。

給食センターの稼働状況は

佐野 児童生徒の要望とセンターの提供する内容が一致する工夫や心配り対策は ①提供するカロリーと量は ②残食の把握は ③保護者の試食とアンケート調査は。

教育部長 ①児童生徒の平均身長で必要エネルギー量を計算。献立を作成し、栄養バランスに配慮して提供 ②残量は月平均1万kg、1日1人当たり約50g。緻密な連携は学校との連絡ノートを活用 ③試食や見学会は11月から実施。

教育環境の整備と職務の構築

佐野 ①教職員の基本的な勤務、②学校行事の実行、③学校訪問時の資料作成、④市内全体研修、⑤テストの作成・採点・評価と通信票、⑥生徒指導・面談、⑥受験資料の作成等に要する概要の時間数は。

教育長 各項目に必要な時間数は、学校の規模や教職員の経験で異なる。年度当初の計画で全職員が分担。ICTや外部人材を活用し実施。担任は1日2時間程超過する。